

2025.01.01 Kyoni Communication Paper NEW WAVE

プロフェッショナル購買 & 生産技術パートナー **kyoni**



至弱をもって 至強にあたる

代表取締役社長

井口宗久



皆様、あけましておめでとうございます。2025年が皆様にとって更に素晴らしい年になることを心よりお祈り申し上げます。

なお、2024年は前年に続いて様々な環境変化への対応に苦慮し、想定外の出来事も多く発生し、私にとっては間違いなく忘れられない年となりました。私は2012年度から社長に就任し、その後は主力のお客様の海外移転や大きなトラブル、コロナ禍なども経験いたしましたが、社内外の方々のご支援により何とか乗り越えてまいりました。

しかし、現在は物価高や人不足、円安の固定、鈍化したとはいえEV化など非常に大きな環境変化の前に本当に苦勞をしています。

2025年もこういった環境は継続いたしますし、製造業の景気復活が不透明であり、米中の国際関係の悪化の懸念もあります。

心配事はつきませんが、このような難しい時代にこそ、社長に就任した時に心に掲げた「至弱をもって至強にあたる」という言葉をもう一度誓って活動していきたいと考えています。

この言葉は三国志の英雄の曹操がまだ地方の一勢力であり、巨大な勢力を誇った袁紹と官渡の戦いという大決戦で対峙し、さすがに弱気になっている際に軍師の荀彧が曹操へ進言した言葉です。

私なりに「チャレンジングスピリットを持ち、ぶつかっていけ」と解釈をしていますが、社長就任時には私は30代前半、営業幹部は40代前半と皆若く、他社に比べると恐らく大変心もとない陣容でしたが、皆でとにかくがむしゃらに行動をしてきました。

今は置かれている環境は当時よりも更に難しさを増していますが、大きな時代のうねりに対し、もう一度このような気概をもち、精一杯の活動をしてまいります。



大好評をいただいた JIMTOF2024 京ニブース

NewWave 1月号 index

P01 社長あいさつ/至弱をもって至強にあたる
P03 「中国事業」2024年まとめと2025年展望
P04 JIMTOF2024展示会報告

P05 ロボット推進室からのご案内/
ロボデックス2025出展のお知らせ
P06 部門紹介 産業装置室
P07 私の成功体験 中国メーカーによる治具製作

P08 不二越新商品「パリスドリル・エンドミル」のご紹介
P09 伊達商会取組状況
P10..... 部門長 新年抱負
P12..... 新人紹介

前期決算と今期計画について

□前期2024年9月期決算

- ・売上高：47億27百万円(前年比99%)
- ・営業利益：58百万(前年比78%)
- ・経常利益：1億9百万(前年比86%)
- ・自己資本比率：60%(前年比+4ポイント)

最終需要地が中国、インドネシアなどのお客様の生産が大幅に落ち、加工関連商材、軸受などの部品の売上が大きく減少いたしました。水処理及び環境機器、そしてロボット関連の大型案件で何とかほぼ横ばいの売上を確保いたしました。

□2025年度の計画数字

2025年度の計画については、難しい環境下においても増収増益の売上49億、営業利益70百万、経常利益1億20百万と設定いたしました。

□活動方針：半導体・電機電子、EV新エネルギー関連への深耕

まず、機械工具・部品商社の根幹は商品力であり、当社では一定の全般的なラインナップを揃えた上で下記商品群に特に注力しており、更なる育成、拡販に取り組んでいます。

- ①ロボット及び省人化機器 ②油圧機器 ③中国製品 ④水処理及び環境機器

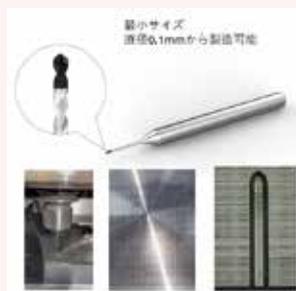
そして、このような商品群をもって半導体・電機電子、EV新エネルギー関連分野への食い込みを進めて行くことが方針の骨子となります。

これらの分野での実績はまだ多いとは言いがたいです

が、EV部品や電子機器向けへ自動化設備、燃料電池関連への油圧機器、半導体部品加工への中国製切削工具などの展開が徐々に進められてきております。

取組商品例1

半導体部品加工用 北京ワールドダイヤ PCD マイクロドリル
最小0.1mmから制作可能で、レーザー加工仕上げではなく研磨加工に高精度がポイント



取組商品例2

電子電機業界向け 不二越 コネクタ挿入ロボットセル
独自の視覚制御で、高速・高精度にコネクタへの挿入作業を実現



2025年も変わらぬご支援ご愛顧をよろしくお願ひ申し上げます。

第28回京二会のご報告

毎年12月に開催している京二会ですが、今回の基調講演は一般財団法人 省エネルギーセンターの技術支援センター長である藤林晃夫様に「カーボンニュートラルに向けた省エネのススメ」を演題にご講演いただきました。

省エネルギーセンター様では半世紀にわたり様々な分野での省エネ支援に携わってきた実績がありますが、当日は「エネルギー消費の現状とカーボンニュートラル」、「改正省エネ法と新しいエネルギーマネージメント」、「外部機関による省エネ診断・サポート」などについてお話いただきました。

今後はスコープ3の開示義務化が開始される中で皆様の関心が大変高いテーマであり、例年よりも多くお客様にご参加いただき、熱心にお話をお聞きいただきました。

